

## 『対アフリカ農業協力の課題と今後の方向性』

国際協力事業団(JICA)

アフリカ・中近東・欧州部

部長 橋本栄治

## &lt; 1 &gt; 多様なアフリカと開発の課題

## (1) サブサハラアフリカの概要

面積、人口、GDP/capita、「安全な水」へのアクセスなど

## (2) サブサハラアフリカの乾燥地面積

## (3) アフリカと日本の比較（高さ、広さ、長さ）

## (4) アフリカ域内比較（国土面積、主要言語、経済・GNP、人口）

## (5) 世界の人口増加と地域別人口増加率

## (6) 栄養不足人口、飢餓、エイズの脅威

## &lt; 2 &gt; 世界のODAの流れ

## (1) 90年代の漸減するODA及び民間フローの増大

## (2) サブサハラアフリカへのODAと我が国ODAのシェア

## (3) ODAのセクター別支出区分比較（日本とDAC平均）

## &lt; 3 &gt; 日本のアフリカ援助

## (1) アフリカに対する日本のODA実績

## (2) アフリカにおけるJICA農業分野の協力実績

## (3) アフリカに対するJICA事業の概要と援助の課題

## &lt; 4 &gt; アフリカへの農業協力の変遷

## (1) プロジェクト方式技術協力

## (2) チーム派遣・研究協力

## (3) 開発調査

## (4) 稲作再編プロジェクト形成調査（セネガル）

## &lt; 5 &gt; 貧困問題と農業

## (1) 貧困問題の深刻さ

## (2) 貧困削減には土地生産性の向上が鍵

(3) JICAの新しいアプローチ

- 国別・課題別アプローチの推進による戦略的な援助の実施
- アフリカ諸国のオーナーシップ（自助努力）に基づく持続可能な開発の支援
- 援助資源の一層の効果的な配分・投入と我が国のイニシアティブによる他のドナーとの援助協調
- 「点」の協力から、地域協力や南南協力を活用した「面」の協力の推進
- 国造りの基礎となる人作り・組織・制度造りの推進

< 6 > 結語に代えて

（故服部正也氏遺稿『援助する国・される国 アフリカが成長するために』という本の「第11章 日本の援助を考える」からの引用）

「それでは援助は何のためにするのか、援助は何故しなければならないのか？」「それは現在の自由交易体制を保持し強化するためである。〈中略〉この世界相互依存体制は、・・・日本が現体制から最も多く利益を受けていることは言うまでもない。従って、日本は交易の自由化をさらに推進し、発展途上国に対して援助するのは義務であり、またそれが国益にも合致するのである。」

「経済発展は明日が昨日より良く、自分の子供が自分より幸福な生活を営めると言うことに尽きる。この意味では発展とはよりよい生活への変化である。」

「(援助は) 経済発展に役立つこと、つまり相手国の国民の利益になることの見通しがあるかどうか、それを発見するための対話が必要である。」

「発展は国民大衆の協力なくしては実現できないのである。・・・経済援助に最も禁物なのは、優越感の裏返しである安易な同情心や、目的を忘れた平等感であろう。」

以上

(別添) 「アフリカ開発を巡る主要イニシアティブ」

平成13年10月  
 アフリカ・中近東・欧州部

アフリカ開発を巡る主要イニシアティブ

	OECD/DAC	IMF/世銀	UNDP/国連	日本	途上国	その他 G8サミットプロセス	三國間等のイニシアティブ
1988	○ (15カ)	○ SP (Special Program of Assistance for Africa)	1990年代のアフリカ開発のための国連の新たな課題 (LIN)				
1990			「人間開発報告」				
1992				ODA大綱			
1993			○ OSCAL/UN DP (共催)	○ TICA			○ GCA(NGO) (共催)
1994			「砂漠化防止条約」 「国連人口開発会議」	第1回アジア・アフリカ・フォーラム			
1995			「国連社会開発サミット」 「世界女性会議」				
1996	新開発戦略 (NDS)		「アフリカに関する国連システムワイド特別イニシアティブ (UNSIAT)」 「世界食糧安全保障」	(日本のイニシアティブ) 第2回アジア・アフリカ・フォーラム		リヨサミット (NDSのイントース)	
1997							英・DFID 貧困白書発表
1998			○ OSCAL/UN DP (共催)	○ TICAD			○ GCA(NGO) (共催)
1999		包括的開発フレームワーク (GDF) ESAF→PRGF		橋本前総理アフリカ訪問		ハミンガムサミット (債務削減・シミュレーション2000) ケルンサミット (拡大HIPCイニシアティブ)	
2000		SPA開始 (Strategic Partnership for Africa)	「国連ミレニアムサミット」	第2回アジア・アフリカ・フォーラム 「Cotonou Agreement」 (ACP&EU)			アフリカ成長・機会法制定 (AGOA) 中国7th AGOA フォーラム 開催(10)
2001			「国連エイズ特総」	森総理アフリカ訪問	○ OAUサミット(7日)		○ GCA(NGO)
		○ W/B (共催)	○ OSCAL/UN DP (共催)	○ TICAD関係 委員会(17日) (TICAD総2003)	○ OAU→AUへ NAK(New African Initiative)→NEPAD (New Partnership for African Development)	ジェ/ハサミット (ジェ/ハ行動計画)	
2002						○ 加ササミット (NEPAD支援行動計画)	